



第二回区議会
定例会報告
—速報版—

田中区長と杉並区政の… 驚くべき 実態が、 明らかに

実態1 田中区長、都議選に続いて 公用車で目黒区長選挙応援に

日本共産党区議団は、第1回定例会で、田中区長が公用車を使って、世田谷区と練馬区の都議予定候補の応援に参加していたことを明らかにしました。今回の第2回定例会では、目黒区長選挙の最終日に、候補者の激励のために公用車を使っていたことを区に認めさせました。区の規則では、公用車の使用は「公務」に限るとされており、規則違反です。

党区議団の質問は、毎日、東京、産経など各紙でも報道されました。



年間80日も深夜23時まで公用車利用、 他区長とくらべても異常

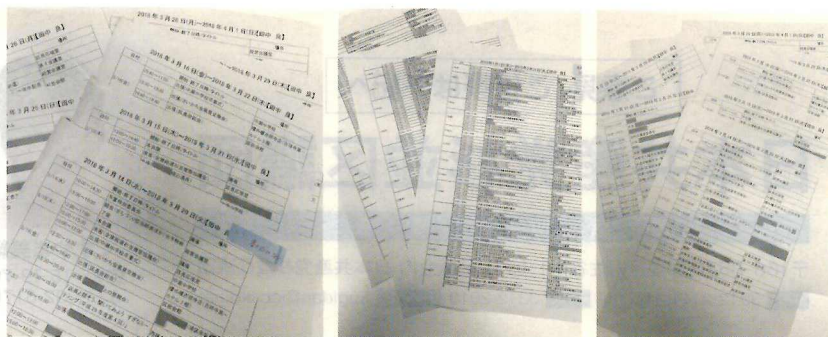
党区議団は、練馬区、世田谷区、渋谷区、中野区など、近隣の区長の公用車運行の実態調査を行いました。その結果、深夜23時すぎまでの公用車の運行は他の区長は年間3～6日にすぎないのに、田中区長は年間80日と慢性化していることがわかりました。公用車の運行、管理のために年間7400万円の税金が使われていることも明らかになりました。

杉並区長	練馬区長	世田谷区長	渋谷区長	中野区長
80日	6日	4日	3日	※

※中野区は公用車がなく、移動は自転車・タクシー利用との回答

運転手は過労死ラインをこえる 最高月222時間の超過勤務に

区長が深夜まで公用車を使用しているために、運転手(企業に委託)の超過勤務は毎月100時間以上、最長で220時間の月もありました。党区議団は、労働基準監督署にこの事実を示し、調査を要請しました。



実態2 田中区政でも 記録隠しが

記録隠しは、安倍政権とともに、田中区長のもとでも行われていたことが党区議団の質問で明らかになりました。第1回定例会で、区は、区長の行動日程は毎日破棄し、存在しない旨の答弁をしました。しかし、党区議団の調査で、2015年の日程表を区が保管していることが確認されました。明らかに記録隠しであり、虚偽答弁です。

実態3 教室不足なのに 学校規模縮小!?

田中区長のもとで、児童数を低く予測したために、改築したばかりの小学校で、普通教室が足りなくなり、整備したばかりの図書室やランチルーム等をつぶす事態が発生しています。

党区議団は、こうした事態にもかかわらず、区が発表した小中学校の老朽改築計画では、改築にかかる財政負担を減らすために、学校の延床面積を1,300㎡減らし、ランチルームやオープンスペースなどを縮小、廃止しようとしていることを追及。さらに、杉並区の小学校の児童1人当たり延床面積は23区中17位と低く、児童数の増加が予測されるなかで財政削減のために学校をさらに狭くすることは許されないと、計画の転換を迫りました。

子育て世帯の国保料軽減へ 議員提案、継続審議に

今定例会で、党区議団は、多子世帯の国民健康保険料の負担軽減を図る条例提案を行いました。提案の内容は、国保料のうち、収入のない子どもにまでかけられる「均等割」(年額5万1千円)について、第3子以降を無料にし、子育て世帯の負担軽減を図るというものです。6月5日の保健福祉委員会で、党区議団は「多子世帯の負担軽減は喫緊の課題であり、国の議論が遅々として進まないなか区民生活を守るのが自治体の責務」と主張。他会派の議員も党区議団の主張の正当性を認め、継続審議となりました。



実態5 公務員は禁止なのに、区長は 利害関係者とゴルフコンペ

公務員は、倫理規程で利害関係者(区が発注や補助金を出す企業、団体)とのゴルフを禁止しています。これは企業との癒着などの疑惑をまねかないためです。ところが、区長は毎年、区内の建設企業関係者などによびかけゴルフ大会を開催し続けています。党区議団の追及にたいし、総務部長は「特別職(区長、副区長)は禁止されていない」などと答弁。区長は公務員倫理の先頭にたつべきですが、区が発注する企業とのなれあいは許されません。また、区長の政治資金団体が主催するゴルフコンペで、参加者から参加費を徴収しながら、都選管に提出した収支報告書にゴルフコンペの収支が記載されていないことを指摘。虚偽記載ではないかと追及しました。

実態4 あんさんぶる荻窪の廃止で 子どもたちが・・・

田中区長が進める「区立施設再編整備計画」のもと、児童館3館、科学館、区民事務所会議室、和田堀会館、あんさんぶる荻窪などが廃止・縮小されてきました。

3月末に廃止となった「あんさんぶる荻窪」では、荻窪北児童館の代わりに、杉並保健所4階に「おぎきた子どもプレイス」が設置されましたが、児童や保護者からは「あんさんぶる荻窪がなくなり、公園が少ないので、子どもが家から出なくなり、困っている」「子どもプレイスに一度行ったら、とにかく行きたがらなくなった」「子どもプレイスが出来ても日曜日は休館日で、父親が子どもたちを連れて遊びに行けず困っている」など、悲痛な声が寄せられています。党区議団は、区民や利用者の声を聞かずに、強引に区立施設の削減を強行した結果、子どもたちに大きな犠牲が押し付けられていると告発しました。

杉並区は人口増なのに 施設削減!?

区は、施設削減を進めるために、社人研(国立社会保障・人口問題研究所)が2013年に発表した「杉並区の総人口が30年後に12万人も減少し、高齢化率が2倍の40%となる」という人口推計を使用しました。党区議団は、この推計は区の実態に即しておらず、区の基本的な計画に使用している区独自の人口推計とも異なることを、当初から指摘してきました。

今年4月、社人研は新たな人口推計を発表。「杉並区の人口は20年後まで増加し続け、その後も激減することなく2045年には59万人となる」というものです。実際、杉並区の人口は計画策定された2014年から2万人増加し、今年1月には56万人となっています。党区議団は、「区が使用した社人研の人口推計も大幅に変わったのだから、人口が減少するから区立施設を削減するという考え方を見直すべき」と迫りました。



強引な計画に対する 区民からの声

児童館や科学館などの廃止を止めてほしい。子どもの教育の経費削減に思えます。

区役所の分室が駅前になくなったのが大変不便。ぜひとも復活させてほしい。

集会所を利用するが、室料が高くなり時間も短くなった。

スポーツを行う体育館使用料が高くなっています。会費の値上げをしていますが、回数も減らすことになりそうです。



ご意見、ご相談は下記へ

日本共産党杉並区議団

区議団連絡先

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 区議会内 日本共産党杉並区議団

TEL 3312-2111(内線2319) FAX 3312-2610 E-mail kugidan@jcpskd.net



くすやま美紀
荻窪5-15-19-704
03-5932-6170



金子けんたろう
浜田山3-26-27
080-1246-1987



富田たく
高円寺南3-59-7-301
090-9001-5249



山田耕平
善福寺2-2-11
090-9973-0941



上保まさたけ
阿佐谷北5-15-15
090-2177-0296